

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS FWII 岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！ 取材：営業部 営業企画推進課

海津市立日新中学校 様

学校の教育目標 共に 高め合い 自立する生徒

海津市立日新中学校の小川さんにORPHIS FW5230IIについてお話しを伺いました。

もう ORPHIS 無しでは考えられない！？

当校では印刷といえば孔版印刷機とコピー機を使用するのが当たり前で、印刷をする時間はある程度かかるものという共通認識を職員一同が持っていました。校内印刷で特に時間がかかるものとして、PTA総会資料の作成が毎年1回あります。1回の作成で20～30ページの資料を約300部用意しなければなりません。その際に片面印刷→裏面印刷→部ごとに仕分ける→ホチキスで留めるといった流れで印刷作業を行うため、時間がかかるだけでなく、多くの人手が必要でした。日々の仕事に追われる中で、毎年のこととはいえ印刷に時間も多くかけられないのが現状で、頭を悩ませていた中で紹介されたのがORPHISです。後処理のスピードが異次元のORPHISは現場環境を劇的に変化させてくれたので、総会資料はデータを流しておくだけで後は機械が自動でホチキス



までの作業を行い、高速で仕上げてくれます。今まで手作業で苦勞していた資料作りが機械一台で出来上がってしまうことはとても驚きました。ORPHIS導入でここまで印刷作業負担が軽減されるのかと。また、コピー時のスキャンスピードも速くかつ、両面ワンパス読み込み可能なため、待ちのストレスも無くなり職員同士で印刷を待つことも少なくなりましたね。印刷作業が楽になった分、今まで印刷作業に当てていた時間を他のことに注力できる様になり、仕事の効率UPに確実に貢献してもらっています。ORPHISが活躍しているうわさは他校にも広がり、近隣のORPHISが入っていない学校から印刷依頼があるほどですよ。もし、ORPHISが契約満了になった時にはまたORPHISが良いくらい、もうORPHIS無しでの生活は想像できません(笑)



より伝わりやすい印刷物へ

カラーコストが1.52円のORPHIS FWが導入されたことによって、以前より気軽にカラー印刷がしやすい環境になりました。今までモノクロで出力していたテストの問題なども地図をカラー化することで生徒にとって目に留まりやすく、より分かりやすくなりました。職員の意識も教育的観点から視覚効果が高く理解しやすい資料作りをより心がけられるようになりましたね。さらに学級通信もORPHIS導入後にカラー化し、モノクロ印刷の写真では表現しにくかった生徒の表情や、その時々イベントや風景の色がしっかりと伝えられるようになりました。それによりお便りのこだわりも増え、受けて側の期待度が日に日に上がっていますよ。保護者の方へしっかり生徒の活躍や日常をよりリアルに伝えることができています。ORPHISだからこそ、学校のカラー印刷を身近にできたと実感していますので、見やすいカラー印刷を意識し、今後も印刷の幅を増やしていきたいですね。



便利がゆえに・・・今後の目標

ORPHISは働き方改革に繋がる色々な機能を有していることと、なにより操作が簡単で大変便利が故に、ORPHISに印刷が偏りがちなのはある意味悩みです。

当校は、ORPHIS導入後もジムブレンさんのアドバイスもあり、印刷機も引き続き使用しています。モノクロで単一原稿を多枚数(50枚以上)であれば印刷機を使用、カラー又は両面印刷や複数ページの印刷、後処理を要する印刷物などはORPHISを使用するようにし、両機種の特長をしっかりと理解したうえで使い分けを行い、最適な印刷を行っていききたいと思います。限られた予算の中で、最適な印刷をするためにはジムブレンさんが定期的に導入校の印刷環境を報告・提案してくれるJB VALUEシステムがすごく重要だと感じますので、今後も一緒に学校の印刷環境の改善にご協力いただきたいと思います。

営業担当者の声

ORPHISを導入していただいたことで今まで印刷業務で苦勞されていた事が改善されお役に立てたこと、大変嬉しく思います。引き続きORPHISを活用としたご提案をしていきたいです。



営業担当：橋本 浩明